

パフォーマンスハイライト

決算期の変更に伴い、2017年12月期は変則決算となります。*

2017年12月期のポイント

売上高 **656** 億円

営業利益 **74** 億円

- 中国を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加、売上高・利益ともに期初計画を大幅に上回る。
- 販売台数増加に伴い、営業利益率が大幅に改善。

セグメント別売上高構成比



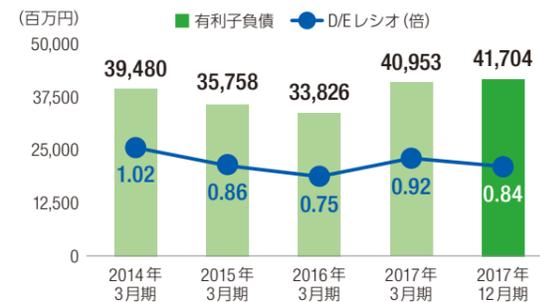
売上高

中国を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加。



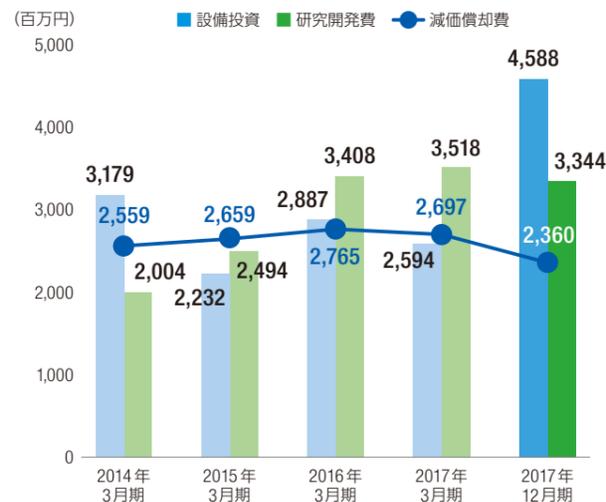
有利子負債・D/Eレシオ*

期末に資金調達を行ったことにより、有利子負債は微増。
* D/Eレシオ(負債資本比率) = 有利子負債 / 株主資本



設備投資・研究開発費・減価償却費

設備投資: 新物流センター、新研究開発棟、北米拠点の新社屋等。
研究開発費: 金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究。



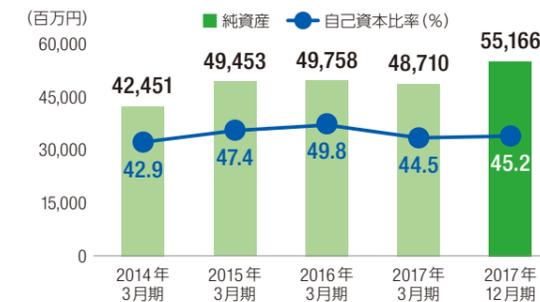
営業利益・営業利益率

販売台数増加に伴い、営業利益率が大幅に改善。



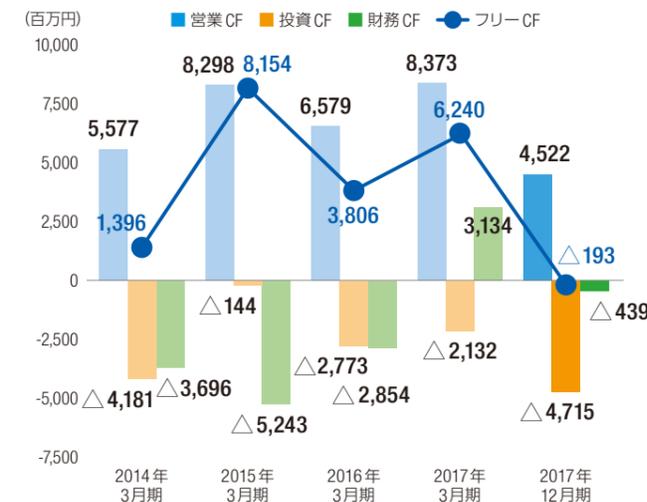
純資産・自己資本比率

利益の積み上げにより自己資本が大幅に増加し、財務体質は着実に改善。



キャッシュ・フロー

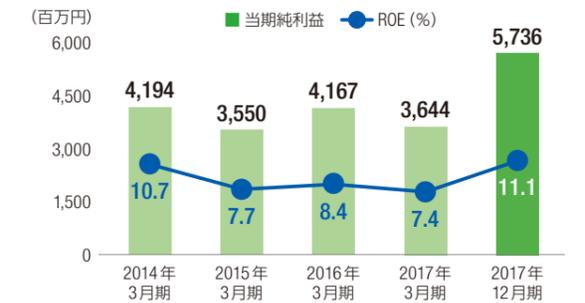
営業CF: 当期純利益が大幅に増加したが、売上債権、たな卸資産の増加等により前期末比減少。
投資CF: 有形固定資産取得等により大幅に増加。



親会社株主に帰属する当期純利益・ROE*

親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益となり、ROEは、前期より3.7ポイント改善。

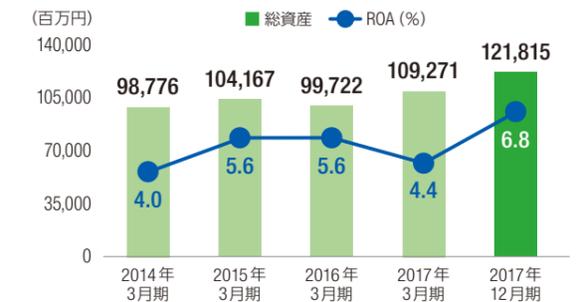
* ROE(自己資本利益率) = 当期純利益 / (純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分)



総資産・ROA*

売上債権、棚卸資産、固定資産の増加により、総資産は前期末比大幅増加。

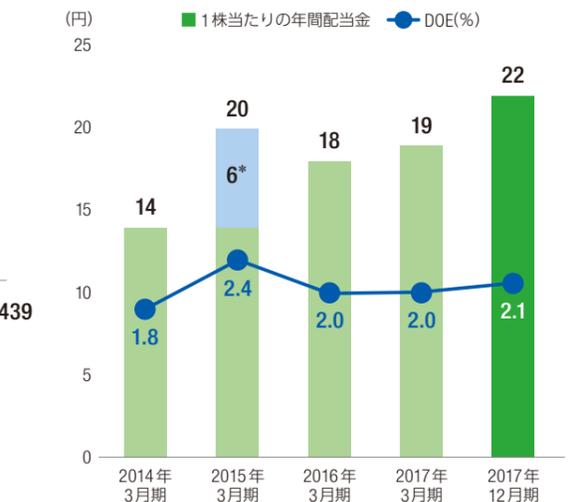
* ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 / 総資産(期中平均)



1株当たり配当金・DOE*

配当方針としてDOE2%以上を目指す。

* DOE(株主資本配当率) = 配当金総額 / 株主資本



* 決算期変更に伴い、2017年12月期は当社及び3月決算会社は4~12月の9か月間、12月決算会社は1月~12月の12か月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

* 東証一部上場記念配当

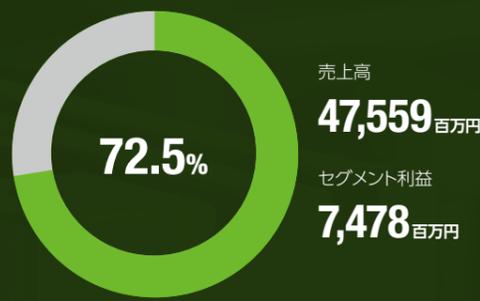
セグメント別 概況

工作機械事業

Machine Tools

- 主な用途: 金型製造、部品加工
- 主な顧客: 自動車、IT、スマートフォン、電気電子部品、航空宇宙、医療機器など

売上高構成比



地域別売上高構成比



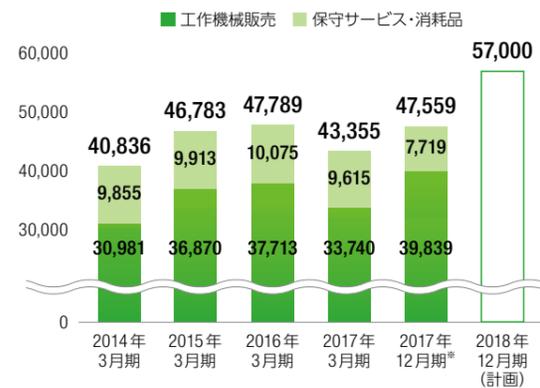
2017年12月期 事業概要及び事業環境

最大市場である中国を中心に需要が堅調

当社の最大市場である中国において、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響により、電動化が進む自動車関連や高機能化するスマートフォン関連を中心に需要が拡大し、売上高、利益ともに期初計画を大きく上回り業績をけん引しました。当社は、他社に先駆け中国市場に参入してきたことから機械の稼働台数も多い上、当社機械を扱えるオペレーター数の多さも強みとなり、足元では幅広い産業において高水準の受注が継続しています。

日本、欧州、北米、その他アジア地域においても、自動車、航空宇宙、半導体関連などを中心に総じて堅調に推移しました。今後も引き続き旺盛な需要が見込まれています。

売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)



※決算期変更に伴い、2017年12月期は変則決算となります。

中長期的な戦略と取り組み

基本方針

- 全地域におけるマーケットシェア拡大
- 金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速
- 生産の効率化、部品の共通化により製造原価を低減

重点施策

自動車やスマートフォンを代表とする産業において、ものづくりの高度化が加速しており、高精度機の需要が増加しています。そうしたニーズを的確に把握し、各地域・分野のニーズに合った製品を開発・販売することにより、全世界でのマーケットシェアを高めてまいります。新興国マーケットでは、ワイヤ放電加工機の低価格機種「VLシリーズ」を中心にニーズを取り込み、先進国マーケットでは、当社主力製品である高精度ワイヤ放電加工機「ALシリーズ」を中心に、自動車、電気、エネルギー、航空宇宙関連の大型部品の需要に対応し、拡販を図ります。

金属3Dプリンタ事業では、造形速度の向上、対応可能な金属粉末のバリエーション拡充、メンテナンス性の向上などにより、金型分野での競争優位性を高めるとともに、部品加工分野への市場開拓により販売台数増加につなげます。

また、製造面においても、生産の効率化及び機種統合や部品のモジュール化により製造原価の低減に取り組みます。



専務取締役
(工作機械事業統括担当)
松井 孝



TOPICS

マルチファクトリー、新物流センターの建設により 事業環境や市場の変化に対応可能な生産体制を構築

国内最大の生産拠点である石川県の加賀事業所では、放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機など、多種多様な製品が生産可能なマルチファクトリーの建設を進めています。このマルチファクトリーにより、事業環境や市場変化への柔軟な対応が可能となるほか、IoTを活用することで、生産効率の向上により短納期にも対応できるようになります。また、梱包・輸送効率の向上、コスト削減、納期短縮を目的として、福井にある物流センターを同敷地内に移転しました。



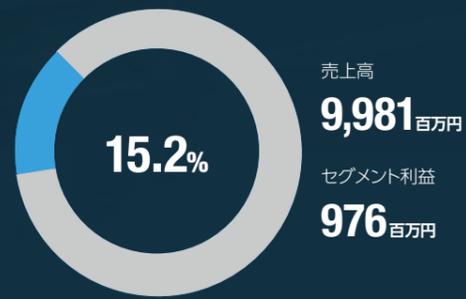
▲ マルチファクトリー完成イメージ図(2018年10月完成予定)

産業機械事業

Industrial Machines

- 主な用途: プラスチック部品の製造
- 主な顧客: 自動車、IT、スマートフォン、電子部品など

売上高構成比



地域別売上高構成比



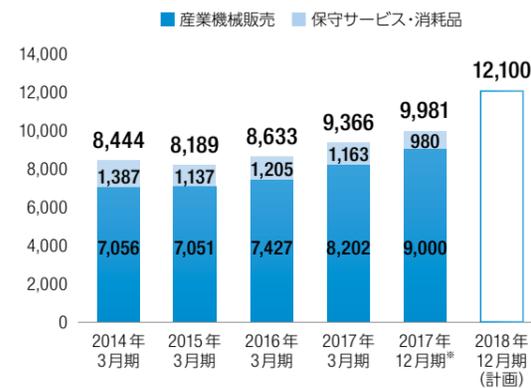
2017年12月期 事業概要及び事業環境

高付加価値部品向けの旺盛な需要が継続

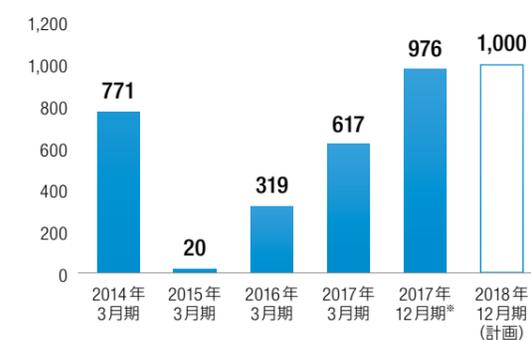
中国、アジア、日本を中心に、車載用コネクタやセンサー部品のほか、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズなど高付加価値部品に向けた高精度射出成形機の需要が増加しています。また、スマートフォンの防水機能強化のためのシリコン成形機の需要も底堅く推移しております。こうした堅調な需要を取り込んだ結果、利益率が大幅に向上いたしました。

今後も自動車、スマートフォン関連を中心に引き続き堅調な需要が見込まれています。

売上高 (単位: 百万円)



セグメント利益 (単位: 百万円)



※決算期変更に伴い、2017年12月期は変則決算となります。

中長期的な戦略と取り組み

基本方針

- 海外売上高比率を70%以上に向上
- ラインナップのさらなる拡充により、新たな需要を創出
- 収益力強化を目指した原価低減プロジェクトへの取り組みを推進

重点施策

海外売上高比率を70%以上に向上させるため、マーケットニーズの高い全電動射出成形機「MSシリーズ」を拡販するとともに、製造原価の低減、販売体制の再構築・営業強化を図り収益力の改善を目指してまいります。

また、アルミニウム合金対応射出成形機「ALM450」、全電動射出成形機「MSシリーズ」、金属3Dプリンタで造形した金型専用の射出成形機「MR30」による自動生産システム「ICF-V」の販売を本格的にスタートさせ、新たな需要の創出を図ってまいります。アルミニウム射出成形機「ALM450」は、ダイカストマシンからの置き換え需要が期待できるほか、軽量化が求められる自動車部品やIT機器関連など潜在市場の開拓が期待できます。

従来から推し進めている原価低減プロジェクトにも引き続き注力するほか、海外工場での生産増加により、さらなる収益力の改善に取り組みます。



TOPICS

射出成形のIoTを具現化したスマートファクトリー「ICF-V」を開発

近年のIoTやインダストリー4.0などの動きを踏まえ、当社では、金属3Dプリンタで造形した金型専用の射出成形機「MR30」を用いた金型の自動交換システム「ICF-V」を開発し、射出成形のIoTを具現化したスマートファクトリーを提案しています。

「ICF-V」はホストPCと複数台のMR30（金属3Dプリンタで製造した金型専用射出成形機）、自動機をネットワークでつないだシステムで、成形機への金型の装着から材料乾燥・供給、成形品の製造、金型交換までを完全無人化・自動化を実現できます。ネットワークに接続された機械の各情報を活用し、監視、保守、制御、分析することで、工程の見える化を実現でき、さらなる生産性向上を図ります。

* ICF-V=Injection molding Cell Factory by V-LINE® system

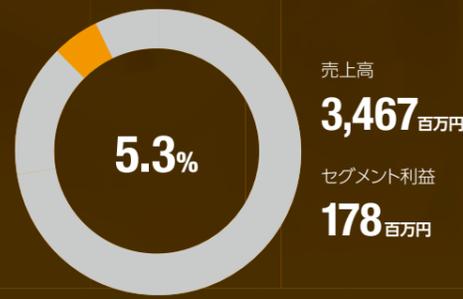


食品機械事業

Food Machines

- 主な用途: 生めん(うどん、そば、中華麺など)、冷凍麺、ロングライフ麺、包装米飯
- 主な顧客: 大手製麺メーカー、外食チェーン、冷凍食品メーカーなど

売上高構成比



地域別売上高構成比



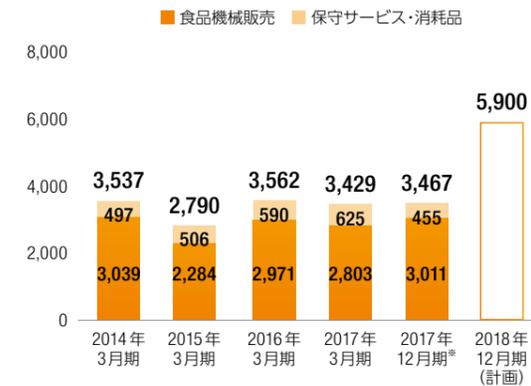
2017年12月期 事業概要及び事業環境

製麺業界に加え、製菓・包装米飯等への需要も拡大

高品質な調理麺の製造設備需要が引き続き堅調となったほか、健康志向の高まりによる豆腐麺などユニークな麺製造向けや、製麺設備の一部を応用した包装米飯製造装置の需要も見られました。

人件費高騰及び人手不足の影響に加え、衛生面の向上を目的として、自動化設備の需要も拡大しています。2017年12月期は、第2四半期までは、複数案件で検収が遅れていましたが、第3四半期に検収が進んだ結果、概ね計画通りの売上高で着地いたしました。セグメント利益については、新製品立ち上げコストの一時的な発生により伸び悩みました。今後も引き続き堅調な設備投資需要が見込まれています。

売上高 (単位: 百万円)



セグメント利益 (単位: 百万円)



※決算期変更に伴い、2017年12月期は変則決算となります。

中長期的な戦略と取り組み

基本方針

- 工場拡張による収益力の強化
- 海外市場向けの製品開発により海外売上高拡大
- 製麺機以外の製品開発及び販路拡販

重点施策

加賀事業所(石川県)の拡張により、生産能力を増強させ収益力の強化を図ります。

また、ショールーム・研究室を生かし、麺の科学的研究を通じた製品開発・販売促進を強化してまいります。製麺分野のみならず、製麺技術の応用展開により製菓業界や包装米飯業界などの、麺業界以外からの需要創出を目指します。特に、国内外での需要増加が見込まれている包装米飯製造装置の販路の確立に注力してまいります。

今後さらなる拡大が見込める海外市場に対しても、ニーズに合った製品の開発を通じ、需要拡大を図り、ソディックブランドの強化に取り組んでまいります。



食品機械事業部
事業部長
神野 久彦



TOPICS

衛生的な製造システムで、安全安心な美味しいごはんを提供できる 無菌包装米飯製造システムを開発

製麺機の技術を応用し、家庭で炊いたような美味しいごはんを提供できる無菌包装米飯製造システムを開発しました。洗米から製品の出来上がりまで、ほとんど人手に触れずに製造できるシステムを構築し、高い安全性を実現。140℃の蒸気を活かした加圧釜により、短時間で無菌化でき、お米のうまみを最大限に引き出すことができます。包装米飯は、長期保存が可能であるため、家庭内の備蓄食料として、需要が増加しているほか、海外においても、日本食ブームの影響や、お米を主食とする中国や韓国などでも、包装米飯が販売されており、市場は拡大しています。



生産拠点訪問



中国 蘇州工場 廈門工場
成長著しい中国市場に位置する世界戦略の重要拠点



蘇州工場

ソディック独自の厳格な基準を満たす高精度な放電加工機を生産

1995年11月から生産を開始した蘇州工場は、成長著しい中国市場向けにワイヤ放電加工機と形彫り放電加工機を生産しています。

上海市から約100km離れた中国の南北のほぼ中間地点、江蘇省蘇州市にあり、敷地内には、第一期組立工場棟、第二期板金工場棟、第三期機械加工棟、および食堂棟などを備えています。工場内は、精密機械である放電加工機の生産を考慮し、工場の床の基礎に十分な強度を持たせるとともに、高精度の空調システムを備え、常に一定温度の作業環境を維持することにより、ソディック独自の厳格な基準を満たす高精度な機械の生産を可能にしています。

事業所プロフィール 蘇州沙迪克特種設備有限公司

所在地	中国江蘇省蘇州市新區竹園路18号 (上海浦東國際空港から車で約1時間)	製造品目	ワイヤ放電加工機、形彫り放電加工機、その他各種産業機器
設立	1994年	従業員数	約200名
敷地面積	36,900 m ²		



廈門工場

部材の加工から組み立てまでを行う一貫生産体制で世界の需要に対応

廈門工場は、放電加工機の世界ナンバーワンシェア獲得を目指すソディックの世界戦略拠点として、2007年8月に操業を開始しました。放電加工機に使用するリニアモータなどの部材を含め、板金加工から組み立てまで一貫生産体制を築いており、年1,500台規模の生産能力を有しています。

廈門は中国で最も早く設立された四つの経済特別区の一つで、欧米や台湾他多数の外国優良企業が進出し、ビジネスの国際化が進んでいます。廈門工場は、世界の需要拡大に対応するための重要な戦略拠点として、放電加工機、食品機械、リニアモータ等を生産、これまで中華圏を中心に世界各国に高性能な機械を出荷し、高い評価を得ております。

事業所プロフィール 沙迪克(廈門)有限公司

所在地	中国福建省廈門市海滄區陽光西路376号 (廈門高崎國際空港から車で約30分)	製造品目	ワイヤ放電加工機、リニアモータ及び制御機器、食品機械(製麵機)
設立	2006年	従業員数	約700名
敷地面積	58,000 m ²		



2017年12月期 事業概要及び事業環境

精密金型・精密成形事業では、自動車関連からの旺盛な需要の継続が見込まれています。また、中国でのものづくりの高度化に伴い、リニアモータ及びその制御機器の外販も堅調に推移する見通しです。

半導体製造装置メーカー向けにセラミックスの需要が継続しており、今後も好調な受注が期待できます。



▲ 自社開発技術を活かした製品群



▲ 成形部品

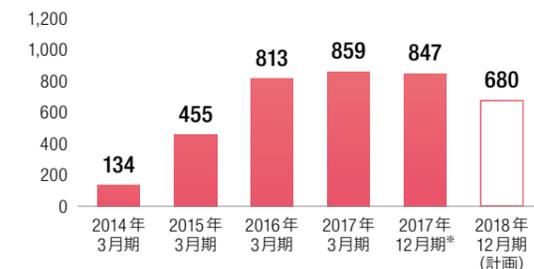


▲ LED大光量単一光源型
投光器 PIKA101

売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)



※決算期変更に伴い、2017年12月期は変則決算となります。

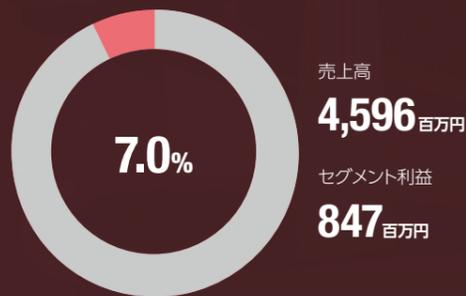
その他事業

Others

その他事業はソディックが創業以来開発してきた多彩な製品・技術を自ら活用して、お客様の「ものづくり」をサポートする新しいビジネスモデルを生み出し提供する場として展開しています。

金型設計・製造及びプラスチック成形品等の生産、リニアモータ応用製品及びその制御機器、セラミックス製品、LED照明などの開発・製造・販売、放電加工機のリースなどを行っております。

売上高構成比



地域別売上高構成比

